

あなたは、このコラムを  
目にしたとき、どんな思い  
で読み始めようとしたので  
しょう。例えば、「面白そ  
うだ」「楽しみだ」「何か  
学べそうだ」などという思  
いかもありません。

この思いが、コラムを読  
み進める活動の支えになっ  
ています。そして、この思  
いは内なる声として自分に  
常に働きかけています。そ  
して、読み進めるに従って  
内なる声に変化していきま  
す。どんな声を発している  
かは、その後の生き方とつ  
ながっています。

活動に主体的に取り組み  
子どもは、活動する前にす  
でに意欲的なめあてをもっ  
ています。そして、そのめ  
あてを内なる声として発し  
ています(例「得よう」  
「学ぼう」)。

# めあてをもつて日々を過ごす

その上で、自分にとって  
価値ある活動にしようとい  
動をし始めます。「めあて  
をもつて取り組む」という  
ことは、この点を大事にし  
ていることになります。そ

ここで、めあてについての理  
解を深め、「意欲的な声」  
を発する子にしたいと思  
います。

その際、①めあては人に  
言われて作るものではない  
②見通しがある③「やってよ  
か」という体験がめあて  
を高める」ためには、▽活

づくりの意欲につながる④  
成果を上げた体験を繰り返  
すと自分からめあてを作り  
出せるようになる——とい  
う点を踏まえると、どのよ  
うな指導が重要になるかが  
見えてきます。

また「めあてをもつ意欲  
を高める」ためには、▽活

さらに、「めあてを作る」  
ためには、▽すべきことを  
知らせる▽活動の流れを知  
らせる▽1人でするのか、  
仲間とするのか知らせる▽  
活動する時間を知らせる▽  
活動する場所を知らせる—  
—など。

「次のめあてを作りたく  
なる」ためには、▽意志を  
もつて活動したことを褒め  
る▽めあての実現を一緒に  
喜ぶ▽めあてのよさをほめ  
る——など。

「めあてを持ち続ける」  
ためには、▽活動を始める  
前にめあてを確認する▽活  
動中にめあてを確認する▽  
めあてをもつて活動してい

る子を紹介する▽活動後に  
次のめあてを確認する—  
などが、それぞれ考えられ  
ます。

そして、これらの取り組  
みは、既に日常的に行われ  
ていることばかりだと思  
います。

**NLP心理学**  
に学ぶ学級経営

岐阜市立岩野田小学校教頭 須田敏男

⑫

### 思いを見抜く



思いは必ず姿に現れる

- めあてをもった時の目の動き  
目をそらすことなく、正対できる。  
めかてがはっきりしていると、目が大きく見える。
- めあてがはっきりしている時の呼吸のパターン  
呼吸がやや早くなり、やや浅くなる。
- めあてがはっきりしている時の声の高低や早さ  
少し高めの中で早口になる。
- めあてがはっきりしている時の姿勢、表情  
胸とし、背筋が伸びた感じになる。明るい表情  
※どの子も同じ姿になるとは、限りません。一人一人をよく観察しましょう。  
※めあてをもった時の子どもの様子を捉えることが指導に役立ちます。

(NLP心理学・・・アサシケンダ・キューの利用)

「コラムを読むあなたのよ  
うに、目を輝かせながら活  
動に向かう子どもにしたい  
ものです。」

「次は、これらを取り組  
みは、既に日常的に行われ  
ていることばかりだと思  
います。」

(おわり)